

シダマ州及びティグライ州で実施する 草の根・人間の安全保障無償資金協力発足式

2025年4月11日、駐エチオピア日本国大使公邸において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ティグライ州メケレ市性暴力被害者のための保護・自立支援施設建設計画」及び「シダマ州イェルガレム町イエカティト 25 小学校整備計画」の発足式が開催されました。

式典には「ティグライ州メケレ市性暴力被害者のための保護・自立支援施設建設計画」の事業実施団体であるアベバ・ティグライ女性協会代表が出席しました。本案件は、我が国から約 90,690 ドル（約 1,200 万円）を供与し、保護・自立支援施設を整備するもので、入居する 150 名の性暴力被害者の生活環境改善及び保護・自立支援の継続・強化が期待されます。

また、「シダマ州イェルガレム町イエカティト 25 小学校整備計画」の事業実施団体であるキム・グッドネーバーズ・エチオピア事務所代表が発足式に出席しました。本案件は、我が国から約 54,600 ドル（約 760 万円）を供与し、校舎 1 棟（4 教室）及び学校備品を整備するものです。本支援により、新校舎を主に利用する約 200 名の生徒を含む全校生徒約 1,800 名の教育環境の改善が期待されます。

同式典において、柴田大使は、今回の NGO との協力をはじめ両国の協力を強化することで、都市部のみならず地方部においてもエチオピアの人々がよりよい環境を享受できるよう、基礎生活分野（Basic Human Needs, BHNs）への支援を維持強化していきたい旨述べました。



柴田大使ご挨拶



左より：アベバ代表、柴田大使、キム代表